

氏名	
----	--

点数	点/100点
----	--------

各論演習 5-1

問1)

下記、当期の決算整理前残高試算表（一部）および期末整理事項にもとづいて、損益計算書（一部）の空欄と貸借対照表（一部）の空欄を埋めなさい。

(資料1) 決算整理前残高試算表（一部）

決算整理前残高試算表（一部）		(単位：円)
仮払法人税等	4,980	

(資料2) 期末整理事項

法人税等、住民税及び事業税10,090千円を計上する。

解1)

損益計算書（一部）		(単位：円)
Ⅶ 特別損失		
1. 固定資産売却損	1,890	
税引前当期純利益	72,855	
法人税、住民税及び事業税等		
当期純利益		

貸借対照表（一部）		(単位：円)
未払法人税等		

氏名	
----	--

点数	点/100点
----	--------

各論演習 5-2

問1)
当期における期末整理事項にもとづいて、損益勘定（一部）の空欄を埋めなさい。

期末整理事項

当期の課税所得は1,520千円であり、実効税率30%を用いて法人税等を計算する。なお、当期は中間申告・中間納付の事実はない。

解1)

	損益	(単位：千円)
法人税等		

氏名	
----	--

点数	点/100点
----	--------

各論演習 5-3

問1)

当期における決算整理前残高試算表（一部）および期末整理事項等にもとづいて、決算整理後残高試算表（一部）の空欄を埋めなさい。

(資料1) 決算整理前残高試算表（一部）

決算整理前残高試算表（一部）		(単位：千円)
仮払消費税等	88,000	仮受消費税等 100,345

(資料2) 期末整理事項等

1. 消費税の税率は10%であり、税抜方式で処理している。
2. 消費税に関する勘定を整理し、未払消費税等を計上する。

解1)

決算整理後残高試算表（一部）		(単位：千円)
未払消費税等		

氏名	
----	--

点数	点/100点
----	--------

各論演習 5-4

問1)

次の文章のうち、一般に公正妥当と認められる会計諸基準に照らして、正しいものには○を、誤っているものには×を正誤欄に記入し、×を記入した場合にはその理由を理由欄に述べなさい。なお、重要性の原則の適用は考慮しない。

①	法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準によれば、事業税（付加価値割及び資本割）は、原則として、営業外費用して表示する。
②	「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」によれば、事業税（所得割）は、法人税、地方法人税及び住民税とともに、損益計算書の税引前当期純利益（又は損失）の次に、法人税、住民税及び事業税などその内容を示す科目をもって表示する。

解1)

	正誤欄	理由欄
①		
②		